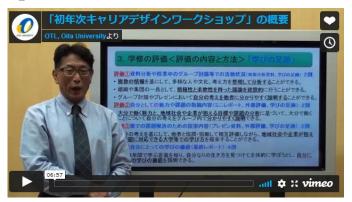
2023年度 初年次地域キャリアデザインワークショップ

大学生として生活を始めるにあたり、「大学での学び方」「大学で学ぶ意義」 を考えます。同時に自分の人生設計の考え方「キャリアデザイン」についても学びます。具体的には「大分」をテーマに、「大分で就職すること」「地域社 会の創造」について、社会人を交えたグループワークで学びます。

- ●参加者 大分大学(2年生11人、1年生4人) 日本文理大学(2年生2人、1年生2人) SA(大分大学より5人)
- ■オンデマンドで実施(第1回~第4回) 【第1回】授業ガイダンス

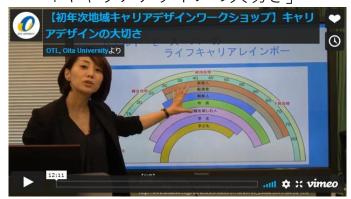


【第3回】ビデオ視聴・レポート作成: 「職場はあなたを求めています|



●教員 大分大学 牧野 治敏 岩本 光生 別府大学 西村 靖史 日本文理大学 鈴木 照夫 大分県立看護科学大学 定金 香里 別府溝部学園短期大学 水戸 貴久

【第2回】ビデオ視聴・レポート作成: 「キャリアデザインの大切さ」



【第4回】ビデオ視聴・レポート作成: 大分で働く魅力と課題について、自分の考えを整理



【6/3(土) 1日目の合同学習】

事前に収集した各種情報をもとに、ディベートを実施することにより、大分で就職する ことの 魅力と課題を検討し整理する。

●授業実施協力企業 全国農業協同組合連合会 大分県本部 (社会人指導者) 株式会社ナガヨシ 西日本電線株式会社 株式会社マルミヤストア



昨年度に引き続き対面で実施。子年度は5グループ形成。牧野教授より授業のガイダンスを実施。



午後から、休日にも関わらず、社 会人指導者も7名に授業に参加し ていただきました。



2大学の学生、SAも含め24人の学生で、アイスブレイク・自己紹介を実施しました。



県内就職に賛成する理由、反対する理由、それぞれの立場から検討し、論理を組み立てました。



次に、ディベートについてルール・ 実施方法を学びました。



県内就職賛成派、反対派、審判に分かれて、ディベートを実施。社会人の皆さんからもアドバイスをいただきました。

【6/4(日)2日目の合同学習】

若手社会人を交えた哲学的対話、グループ討議を行い、就職にあたって重視することと、前日、検討した大分県で就職することの魅力と課題と合わせ、プレゼンテーション作成の準備をする



2日目の進め方を西村教授から説明。 提案内容の検討手法をこれまでの 「ワールドカフェ」から「哲学的対 話」へ変更



働くこととは何か、仕事の意味、働き方など、検討すべき様々な要素が、学 生から挙げられていきました。



本日も6人の社会人の皆さんにご参加いただき授業を実施しました。



若手社会人から、仕事選び、会社選び、また働き方等について、経験を踏まえて、多数のアドバイスをいただきました。



哲学的対話で取り上げたいテーマを 検討しました。まず就職や資格と聞いたときの感情を話すことから始め ました。



翌週のプレゼンテーションの準備で、 意見交換しながら、提案の方向性を 検討。さらに個人ごとに役割分担を 実施しました。

【6/11(日)3日目の合同学習】

大分での就職についてまとめたプレゼンテーションをとおして、大学での学びのあり方を提案して意見交換を行う。



本日の進め方について、西村教授から説明がありました。各グループから質疑応答も含めて10分で発表です。



発表後、社会人の皆様から講評・アドバイスをいただきました。今後の大学での学びについて参考になるお話でした。



「大分の学生は大分で就職すべきである」というテーマについて各班が 作成したスライドをプレゼンしました。



各大学の指導教員からも、最終発表 を受けて、今後の学生の皆さんに向 けたコメントがありました。



前週からの1週間、Googleスライドを活用して、オンライン上で作成。各班で注目したポイントが違い興味深いものとなりました。



最後に、西村教授・牧野教授から授業のまとめがありました。学生・社会人・教員の皆様、大変お疲れ様でした。